

事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	栄養改善事業	コード	41201
-------	--------	-----	-------

2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	健康推進課	作成者	赤羽 恵実
--------	----	-------	----	-------	-----	-------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政策	保健・医療の充実	施策	健康づくりの推進
		予算科目	栄養改善事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	健康増進法 食育基本法		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	市民が食に関する様々な経験を通じ、「食」に関する知識と「食」を選択する力を身につけ、生涯に渡り健康で心豊かな生活を送ることができるよう、おいしくたのしくおかや食育プラン推進事業として、各種栄養講座や栄養相談、食育推進研修会等を実施し、食育の推進に努めた。		
目的	対象者	岡谷市民	
	意図	・市民の望ましい食習慣の定着と、食育への関心を高める	

5 事業の実施内容		*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
おいしくたのしくおかや食育プラン推進事業			
1 各種栄養講座、栄養相談			
・おいしく食べてヘルスアップ教室 4回 延べ参加者 69人			
・食と健康のミニ講座（低栄養予防） 7回 延べ参加者 101人			
・出前講座等 33回 延べ参加者 923人			
・イベント等を通じた栄養相談 4回 延べ参加者 91人			
2 食育推進研修会			
「おかやの食を知って食を語ろう！」			
期日：平成30年6月26日（火） 参加者 70人			
場所：岡谷市役所9階大会議室			
内容：情報提供（長野県・岡谷市の食育）・食育活動事例発表・グループワーク			
3 食育の周知啓発			
・ホームページを活用した食育情報の発信 毎月1回（19日の食育の日に発信）			
・もっと野菜を食べよう！運動の推進			
野菜レシピの配布（各支所、直売所、農業祭等） 22箇所			
ホームページを活用した野菜レシピの掲載等			
4 食生活改善及び食育推進活動における地区組織の育成支援			
・岡谷市食生活改善推進協議会の学習会等 44回 延べ参加者 488人			
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・岡谷市食育推進計画に基づき、食育を推進する個人や団体が、食育に関する知識を深め情報を共有する機会として食育推進研修会を実施し、連携強化を図るとともに、食育の周知啓発に努めた。 ・低栄養の予防として、高齢者の集まる機会を活用し栄養講座を実施した。 		

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	開催回数			単位	回
実績値	133	128	101		
*指標の説明	市民を対象とした栄養相談、講座、展示を実施した回数				
② 成果指標（指標名）	参加者合計人数			単位	人
目標値	2,031	1,965	1,383	1,742	
実績値	1,965	1,383	1,742		
達成度	96.8%	70.4%	126.0%		
*指標の説明	栄養講座、栄養相談の参加者数の合計				
*目標値の設定方法の説明	前年度実績				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	561,418	449,699	564,757	597,000
経常経費	561,418	449,699	564,757	597,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	17,360,000	17,360,000	17,360,000	17,360,000
正規職員の人数(人)	2.17	2.17	2.17	2.17
③ 合計コスト(①+②)	17,921,418	17,809,699	17,924,757	17,957,000
前年度比		99.4%	100.6%	100.2%
財源	17,921,418	17,809,699	17,924,757	17,957,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	134,748	139,138	177,473	
前年度比		103.3%	127.6%	
⑤ コストに関する補足説明	平成30年度から開始した岡谷市食育推進計画に基づき、拡充した高齢者の低栄養予防対策の取組に必要な栄養指導教材を購入。			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 126.0%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 126.0%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期は、個人差があるが加齢とともに身体機能や認知機能の低下、複数の慢性疾患を抱える人が増えるなど、健康面での不安が課題となる。生活習慣病予防と低栄養予防が混在する世代への栄養指導内容を検討する必要がある。 ・地域で継続した食育活動が実践できるよう、多様な関係者と連携・協働した取り組みが重要。 	
改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・低栄養を予防するため、高齢者の集まる機会を活用し、栄養講座等を実施する。 ・食育に関わる関係機関・団体等が、食に関する知識を深め情報を共有し、主体的かつ連携・協働しながら食育の推進が図られるよう研修会を開催するとともに、食育への関心を高めるため、ホームページ等を活用し食育情報を発信する。 	
	改善開始時期	平成31年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---